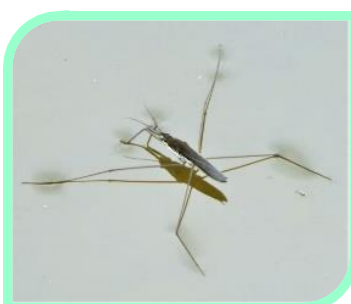
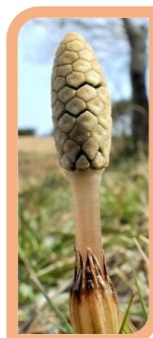


2023年3月18日(土)

楽しい俳句教室⑫

今年度の最終回は二十四節季の「春分」に当たる日でした。
未明まで雨が降っていたため、少し寒さも感じましたが
風も無く気持ち良い吟行ができました。その様子をご覧ください。



ちわき先生のお話の後、吟行に出かけました。
ヨシ原の土手には、既に沢山のツクシが出ていて
「これは食べごろだ。」とか「こっちは傘が開いちゃ
ってる。」などと、皆さんの声が響き渡ります。
ウグイスやヒバリは盛んにさえずり
ツバメが気持ちよさそうに飛び回っていました。



5 晴美道
雲天を我が空として
初はめ
もうとせせがに
長代



さあ、吟行で素材を集めたら、次は今年度最後の俳句作りです。



吟行後、作句の前のひとは
スタッフからのお茶の提供です。
季語や漢字を調べながら
今日の情景を重ねて
“五七五”を組み立てます。



1 遊歩道と空見
2 上筆伸ぶ
3 雨上がり
4 美枝良力
5 曇天を我が空として初はめ
6 ほんほんのほとけついでに春の花
7 日の当たる土手で土筆が背比べ
8 春愁や歳時記の持たずの作り
9 管の樹木の舞台のオペラ歌手
10 春の火や星をいばいにほろかな



美枝良力
よきなる初音に会話をひにけり



出来上がった俳句の講評をしていただいた「ちわき先生」のアドバイスは適格で
いつも「なるほど!」と感心させられてばかりでした。
そんな「楽しい俳句教室」も3年目が終わり、次回から4年目に入ります。
新しい仲間も募集中です。どうです?永世名人目指して一緒に楽しみませんか?